

之共起可憐之情及^{ツヨモリ}月盡以鹿鳴不聆

〔枕草子〕^二すさまじきもの。まはすのつごもりのなが雨

〔濱松中納言物語〕^一もろこしのうむれいといふ處に、七月上の十日におはしましつきぬ、

〔源氏物語〕^{三五}若菜。十月中の十日なれば、神のいがきにはふくずも色かはりて、^略下

〔墨本堤中納言家集〕藤

三月しもの十日。京ごくのふちのはなのえしはべりけるとき、かれこれまうできて、さけたうべ

けるついでに、三條右大臣のうたのかへし、^略歌

〔源平盛衰記〕^{四十一}盛綱渡藤戸兒嶋合戰附海佐介渡海事

佐々木三郎盛綱^略中。其邊ヲ走廻テ浦人ヲ一人語ヒ寄テ、白鞘卷ヲ取セテ、ヤ殿向ノ嶋ヘ渡ス瀨

ハ無カ教給ヘ、悦ハ猶モ申サント云ヘバ、浦人答テ云、瀨ハ二ツ候、月頭ニハ東ガ瀨ニナリ候、是ヲ

バ大根渡ト申、月尻ニハ西ガ瀨ニ成候、是ヲバ藤戸ノ渡ト申、^略下

〔書言字考節用集〕^二時候。白^{ウツク}月^グ俗云、上十五日、西域記、月盈至滿謂之、黒^{クワダク}月^グ俗云、下十五日、西域記、白分黒

〔守貞漫稿〕^{二十七}朔日、十五日、二十八日、之ヲ三日ト云、サンジツト訓ジ、式日トモ云、大内ニモ儀式

アル歟、未聞之、追書スベシ、幕府ニテハ諸大名、旗本、御家人ニ至ル迄、總登城ニ、大名旗本ハ熨斗目

麻上下ヲ着ス、駕籠脇ノ供人、或ハ見附番及ビ辻番迄モ、此三日ニハ麻上下ヲ着ス、

〔將軍徳川家禮典錄〕^一例月祝日之起根。朔望の禮に廿八日を加へ、三日と祝せしは、徳川家に始

れり、^略下

〔書言字考節用集〕^二時候。廿八日^{ニテ}近世準^ニ朔望^ニ是日設^レ禮^ト爲^ス

〔明良洪範〕^一或時伏見ニテ神君、^略徳川家、先生[○]藤原ニ御尋有シハ、毎月朔望ノ禮ハ如何成故ト

問給フ、先生、是ハ日月ノ明ヲ尊ブヨリ、朔日ハ日ノ始ヲ祝ヒ、十五日ハ月ノ滿ルヲ壽クヨリ起レ

三日